

叙勲・褒章受章者紹介～おめでとうございます

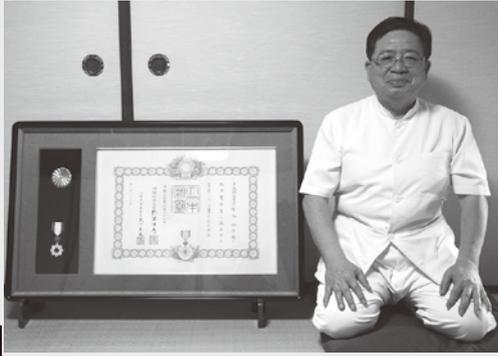
先日発表された春の叙勲・褒章で、築上町から次の3人の方が受章されましたので、紹介します。

旭日双光章受章

～おめでとうございます～

平成24年度春の叙勲で、有本利兵衛さん（上築城）が、旭日双光章を受章しました（保健衛生功労）。この旭日双光章は、地域の自治や教育、医療など、様々な分野で顕著な功績を挙げた方を表彰するものです。有本さんは、父の利彦さんの後を継いで歯科医師となり、1996年から歯科医師会会長を務めてきました。歯科医師会では、豊築地区の小中学校で50年以上にわたって歯科医師が子どもに正しい歯の磨き方を指導する年1回の無料巡回指導を続けています。就任後は「小さな頃から歯の大切さについて認識することが大切」と無料指導を就学前児童と母親にも拡大。また、老後の歯の健康も周知していきこうと、老人施設での無料口腔ケアも始めました。現在は、歯科医師会の顧問として活躍しています。

今回の受章について「このような章をいただき、とても光栄です。受章は歯科医師会の先輩や後輩、皆さんのおかげです。歯科医師会全体でいただいたと思っています」と感慨深げに喜びを話されました。



瑞宝双光章受章

～おめでとうございます～

平成24年度春の叙勲で、木戸喜代治さん（水原）が瑞宝双光章を受章しました（消防功労）。この瑞宝双光章は、国家または公共に対し功労があり、公務等に長年従事し、功績を挙げた方に対し、贈られるものです。

木戸さんは、18歳で消防団に入団。以来、半世紀以上にわたり、消防団の発展に寄与し、今年3月末まで旧椎田町、築上町の消防団長を通算22年間務めました。団員時代は、火事が起きたら現場に急行をモットーに活動してきました。農作業などを中断して現場にかけつけることもたびたびあったそうです。団長に就任後は、団員が怪我をしないようにと心がけ、ホースの中継訓練も重点的に行っていました。

今回の受章について「このような章をいただき、とても光栄です。受章は団員や地域の方のおかげです。地域に貢献できる消防団の仕事は生きがいでした。これからも陰ながら安心安全な町づくりにも協力していければ」と長い消防団生活を振り返り、喜びを話されました。



藍綬褒章受章

～おめでとうございます～

平成24年度春の褒章で吉元和子さん（椎田南）が、藍綬褒章を受章しました。この藍綬褒章は、公衆の利益、公共の事業で事績著明な方に贈られるものです。

吉元さんは、昭和62年から中津少年院で篤志面接委員として活動し、長年にわたりボランティアで矯正教育に携わっています。篤志面接委員制度とは、法務省から委嘱を受け、受刑者や少年院在院者などの改善更生と円滑な社会復帰のために、様々な奉仕活動をするものです。吉元さんは、「花を通して生きていくものをいかに大切に扱ってかを伝えられたら」と華道を教えています。花を生けた後、スケッチを行い、その間に新聞の話題などから自然に社会復帰後の生き方や新しい未来のことについて話したりするそうです。

今回の受章について「このような章をいただき、本当に光栄です。生け花を通して相手を思いやる心を育んでほしいと願って活動しています。これからも協力していけたら」と長年の活動を振り返り、感慨深げに話されました。

